

鹿児島県漁海況週報

平成23年3月17日発行(3月10日～3月16日)
第2396報(旧暦:2月6日～2月12日/月齢5.3～11.3/潮汐:中潮～中潮)



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

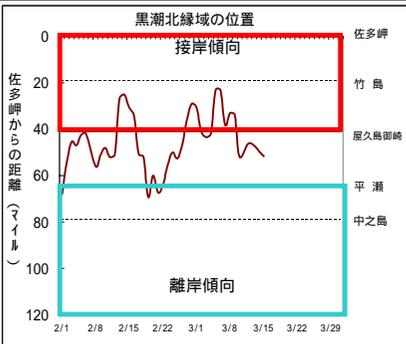
黒潮北縁域は3月15日現在、屋久島御崎の南10.6マイル付近にある。

黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は3月15日現在、32マイル付近にある。

定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、屋久島御崎、与路島で0.2～1.6℃降温し、黒潮流域、与論で変わらず、その他の海域で0.2～1.2℃昇温した。
 平年比較では、竹島、中之島で“やや高め”、与路島、与論で“かなり低め”、その他の海域で“平年並み”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.3	+0.0	+0.1	平年並
鹿児島	16.7	+0.9	+0.3	平年並
佐多岬	18.1	+0.7	-0.4	平年並
竹島	20.3	+0.2	+0.8	やや高め
屋久島御崎	19.6	-1.6	-0.5	平年並
中之島	22.3	+0.4	+0.5	やや高め
笠利崎	20.7	+0.7	-0.3	平年並
与路島	19.9	-0.2	-1.0	かなり低め
与論	20.2	+0.0	-1.0	かなり低め
甕海峡	17.5	+1.2	+0.4	平年並

鹿児島 - 那覇定期客船観測は3/14-16
串木野 - 甕定期客船観測は3/14

【漁況】

定置網

甕海域では、ブリ(8～10kg)が1日のみ800尾、マサジ(50～60g)が900kg/日の入網。西薩南部海域では、サワラ(0.6～1kg)が1～1.5トン/日、ブリ(4kg)が多い日で200尾の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ブリ(4～5kg)が1日のみ200尾、ブリ(1.2～1.3kg)が1日のみ300尾、マサジ(80～100g)が2～3トン/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、マサジ(100g)が週計で400kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で45統がブリ、カクチイワシ、スルメイカ主体に21トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、ブリ、サワラ主体に1.9トンの入網。

キビナゴ刺網

甕海域では2～5箱/隻・日の漁。西薩南部海域では多い船で3箱/隻・日の漁。鹿児島湾口大隅半島側では2～3箱/隻・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

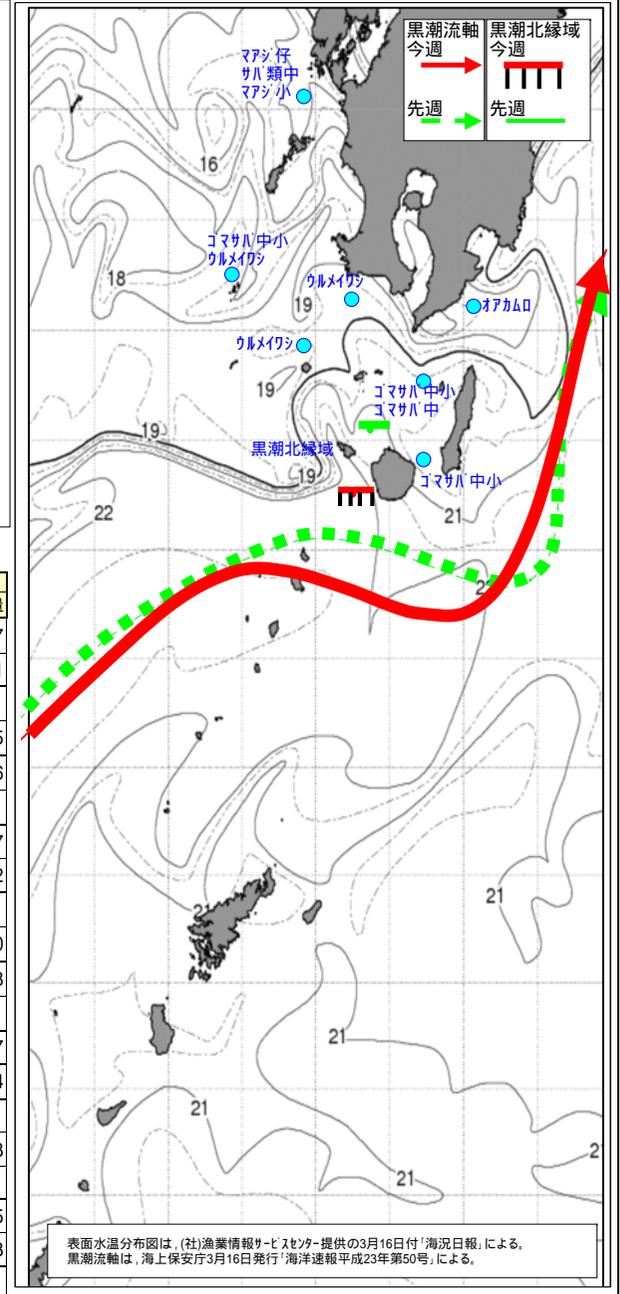
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前年同期(第2347報)			
								前週隻数	前週漁獲量	前年同期隻数	前年同期漁獲量
旋網	阿久根	大	3	55	牛深沖	マサジ仔50 サハ類中13 マサジ小11	18.2	2	111	5	57
		中	0	-			-	0	-	13	111
	枕崎	大	8	545	宇治馬毛島内之浦沖	ゴマサハ中小60 ウルメイワシ24 オアカム11	68.1	6	469	0	-
		中	37	893	馬毛島宇治枕崎沖 島間沖	ゴマサハ中小43 ウルメイワシ31 ゴマサハ中15	24.1	20	582	12	325
	内之浦	中	0	-			-	0	-	1	6
	山川	中	0	-			-	0	-	0	-
計	大	11	600			54.5	8	580	5	57	
	中	37	893			24.1	20	582	26	442	
東海旋網	阿久根	0	-			-	0	-	0	-	
	枕崎	4	800		マサハ豆30 ゴマサハ中17 オアカム10	200.1	2	544	2	160	
棒受網	阿久根	14	11	阿久根沖 長島	カクチイワシ71 ウルメイワシ29	0.8	15	19	27	78	
	内之浦	0	-			-	0	-	0	-	
定置網	内之浦	45	21		ブリ28 カクチイワシ21 スルメイカ18	0.5	49	27	56	27	
刺網	阿久根	大	3	甕 牛深沖	キビナゴ100	0.0	79	4	62	4	
		小	0	-			-	2	485	0	-
	枕崎	大	0	-			-	0	-	1	3
		小	0	-			-	0	-	0	-
	海旋	0	-			-	0	-	0	-	
海外旋網	山川	中	0	-		-	0	-	3	15	
		海旋	0	-			-	0	-	1	173
	瀬戸内	小	0	-			-	0	-	0	-

トビウオロープ曳網

種子島海域では、大ビを多い日で190箱/統・日の漁。屋久島海域では大ビを9～284箱/統・日の漁。

その他

西薩海域では、刺網でヒラメ(1kg)を多い船で20尾/隻・日、曳縄でサワラ(0.8～0.9kg)を50尾/隻・日の漁。西薩南部海域では、ごち網でマガイ(1.5～2kg)を1日のみ50尾、サワラ(1～1.5kg)を1日のみ40kgの漁。志布志湾海域では、底曳網でハエ(500g)を50kg/隻・日、マガイ(5～6kg)を30kg/隻・日、エソ(100g)を30～35kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣でアオリイカ(0.5～1.5kg)を10～15kg/隻・日、マガイ(4～5kg)を多い船で30尾/隻・日、ゴマサハ(500～800g)を50～60尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しでソデイカ(胴体のみ12～13kg)を3～4日操業で40～80ハイ/隻、2日操業で17～18ハイ/隻、日帰り操業で2～7ハイ/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の3月16日付「海況日報」による。
黒潮流域は、海上保安庁3月16日発行「海洋通報平成23年50号」による。